

不二製油グループの 「ビジネスと人権」取り組み

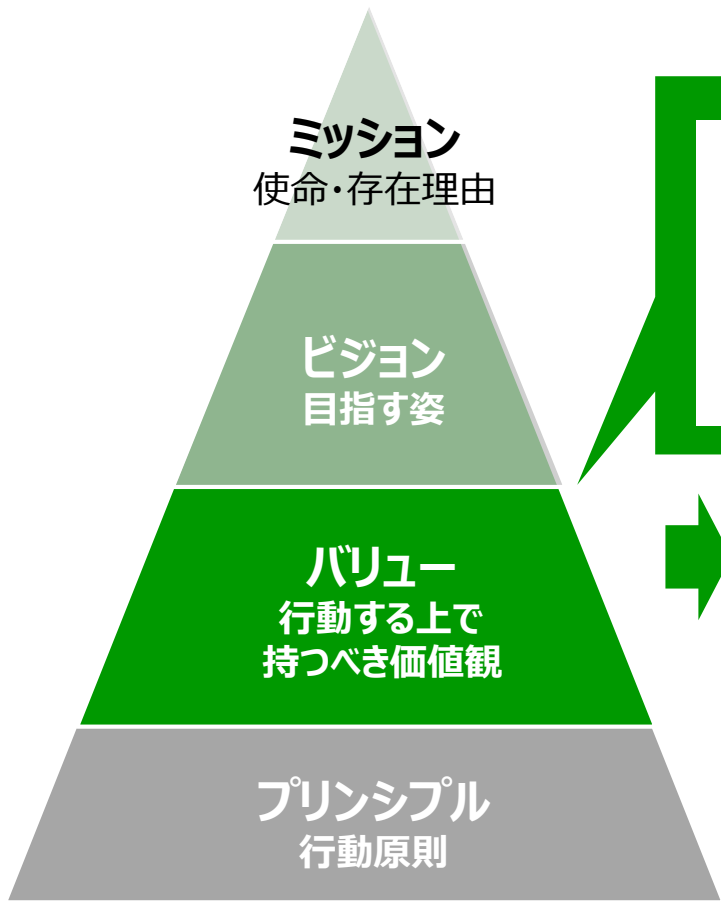
2021年4月13日

上席執行役員
最高ESG経営責任者(C"ESG"O)
門田 隆司

※本資料の一部または全部に関する無断での転用・転載はご遠慮下さい

1. 経営の考え方
2. 「ビジネスと人権」の取り組み概要
3. サステナブル調達（事例）
4. 「ビジネスと人権」を企業価値へ
～グループシナジーの発揮～

不二製油グループ憲法＝グループ従業員の行動の原理・原則



「人のために働く」 価値観

= 仕事を通して人々・社会の
お困りごとを解決する

社会の一員として、
サステナブル社会実現への貢献を目指す
⇒「社会から必要とされる会社」に！



経営の考え方 と ビジネスと人権

ビジネスと人権は「人のために働く」の実践そのものであり、企業価値を創出する要素に

動機：
企業の価値観の実践として
(人のために働くDNA)

人を大切にする企業文化
✓ 安全と品質・環境の風土
「安全は命の尊さを基本とする」

ビジネスと人権を事業そのものを通して推進

期待される成果：
社会価値と企業価値の創出

ビジネスと人権は企業価値にも影響
✓ レピュテーションリスク
(取引停止、輸入禁止 等)
✓ サステナブル市場への機会
(高まるサステナブル原料ニーズ)

1. 経営の考え方
2. 「ビジネスと人権」の取り組み概要
3. サステナブル調達（事例）
4. 「ビジネスと人権」を企業価値へ
～グループシナジーの発揮～

「ビジネスと人権」の認識

きっかけは2016年9月「有識者ダイアログ」

「不二製油のサステナビリティレポートには、
“ビジネスと人権” や “UNGP” への言及がありませんね。」



ビジネスと人権？？
UNGP？？？
聞いたことないとは
言えない・・・

⇒“**ビジネスと人権**”と“**UNGP**”の勉強を開始！

UNGP : 国連ビジネスと人権指導原則

- 2011年に国連人権理事会が採択
- 人権に関する国際社会のコンセンサス

指導原則のポイント		指導原則が 企業に求める活動
国家	1. 人権保護の義務は国家にある	—
企業	2. 人権尊重の責任は企業にある ※範囲はサプライチェーン全体	① 人権方針の策定 ② 人権デュー・ディリジェンス (人権リスク管理)
国家 企業	3. 人権侵害が発生した際の救済責任 は、各国政府・企業の双方にある	③ 苦情処理メカニズムの構築

人権方針の策定

- 2017年3月に策定
- 不二製油グループ憲法で表明する
「人のために働く」の価値観に基づき、人権尊重責任を果たす。

不二製油グループ本社株式会社

不二製油グループ人権方針

■ 人権に対する基本的な方針

不二製油グループは、不二製油グループ憲法の下、ステークホルダーの皆様と双方向のコミュニケーションを図りながら、事業活動を通じて社会に貢献し、社会と共に持続的に発展していくことを目指しています。当社グループ憲法にて表明する「人のために働く」の精神に則り、事業活動が影響を及ぼし得る人々の人権を尊重する責任があることを認識し、この責任を果たすように努めます。

当社グループは、「国際人権章典」（世界人権宣言と国際人権規約）、国際労働機関の「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」を支持し、尊重しています。また、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づく取り組みの実行を通じて、人権尊重の責任を果たします。

人権に関する社内教育

●ビジネスと人権ラーニング動画

こちらからご覧いただけます
https://www.fujioilholdings.com/csr/social/human_rights/#04

※「ビジネスと人権 e-learning 動画」の項目よりご覧ください。



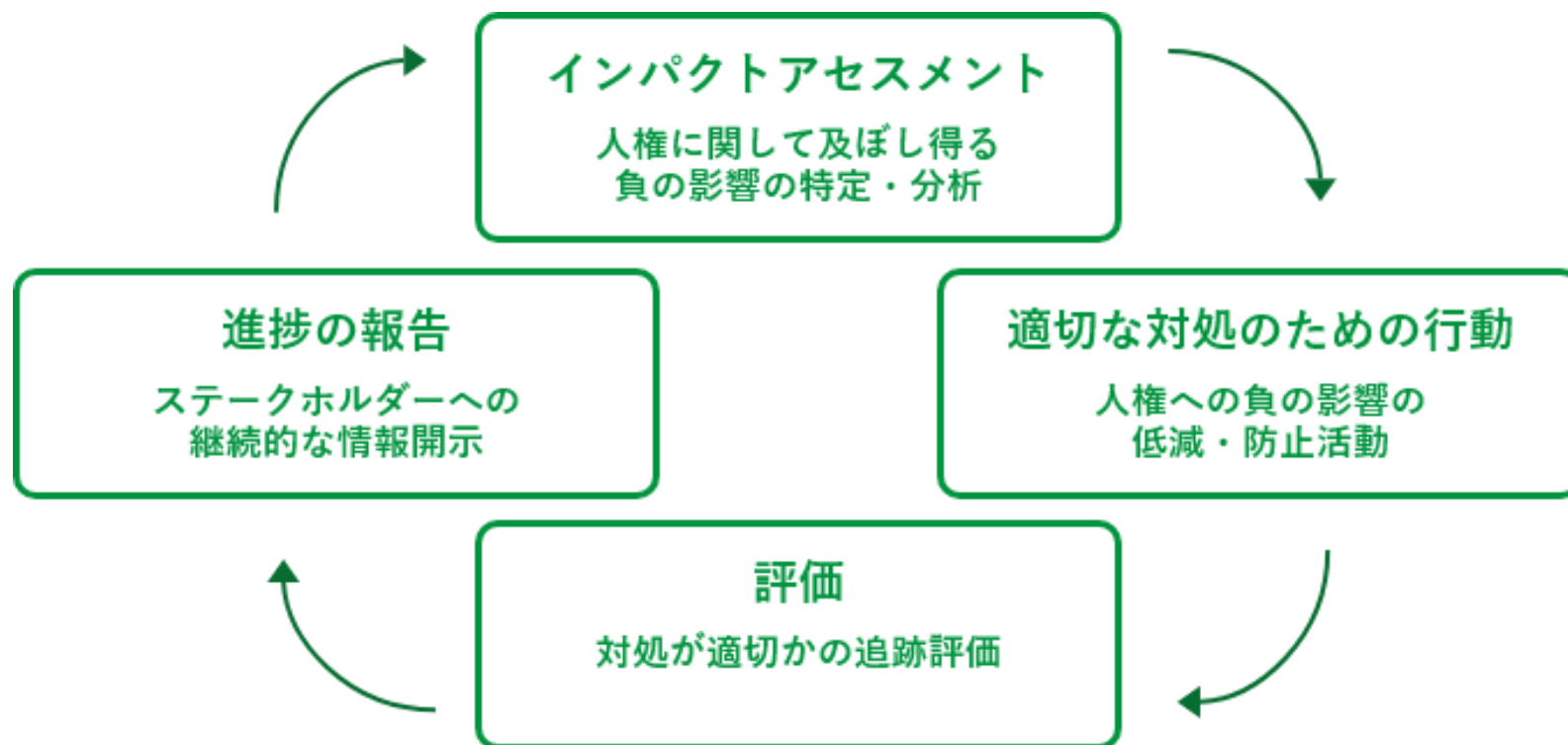
●人権週間（12月10日の世界人権デーにあわせ、グループ全体に人権方針を啓発）

- ・ 経営者メッセージ
- ・ ビジネスと人権記事
- ・ メールマガジン
- 「職場で気をつける人権」
- ・ ダイバーシティ・LGBTについて学ぶセミナー



人権デュー・ディリジェンス

- ・ 有識者のサポートを受け、2017年に**第1回インパクトアセスメント**を実施。
- ・ 以降、特定した人権リスクについて、対策推進⇒評価⇒進捗の開示を行っている。
- ・ 2020年に**第2回インパクトアセスメント**を実施。



人権インパクトアセスメントの結果

第1回人権インパクトアセスメントで 特定された人権リスク

- ・人権に関する教育、
リスク管理の仕組み

第2回人権インパクトアセスメントで 特定された人権リスク

- ・サステナブル調達
(含：グリーンバンスメカニズム)

- ・ダイバーシティ&
インクルージョン及び
職場の人権
- ・労働安全衛生

サステナブル調達とは：

サプライチェーンにおいて森林破壊のような環境問題や児童労働・強制労働などの人権問題が関与しない原材料を調達すること

1. 経営の考え方
2. 「ビジネスと人権」の取り組み概要
- 3. サステナブル調達（事例）**
4. 「ビジネスと人権」を企業価値へ
～グループシナジーの発揮～

サステナブル調達 中長期目標

パーム油



方針

責任あるパーム油調達方針 (2016年)

- ・森林破壊ゼロ
- ・泥炭地開発ゼロ
- ・搾取ゼロ

中長期目標

- ① 2030年までに
農園までのトレーサビリティ100%
- ② 2025年までに
主要子会社の全サプライヤーに
労働環境改善プログラム適用

カカオ



責任あるカカオ豆調達方針 (2018年)

- ・農家の生活環境改善
- ・サプライチェーンの児童労働撤廃
- ・森林破壊防止と森林保全

- ① 2030年までに
サプライチェーン上の児童労働を
撤廃するため、2025年までに
最悪の形態の児童労働ゼロ
- ② 2030年までに
カカオ栽培地域に対して
緑陰樹などの植樹100万本

パーム油のサステナブル調達 活動例②サプライチェーン改善

NPOやサプライヤー等のステークホルダーと共に、リスク低減活動を推進

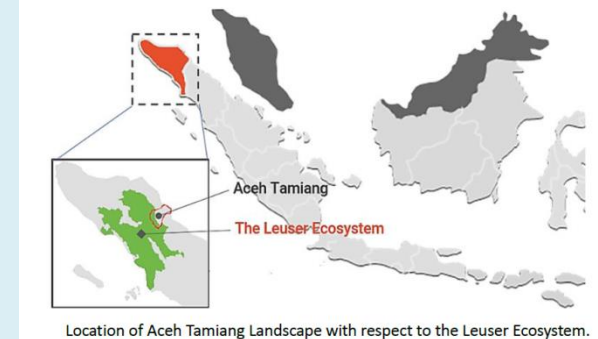
1. APT Landscape Initiative (ランドスケープアプローチ) への参画

インドネシア

2018年～

- ・ トレーサビリティやNGOとの対話の結果、スマトラ島北部での森林リスクが高いことを認識
- ・ NGO、地元政府、農園、小規模農家、コミュニティ、ユーザー企業等が連携して地域の森林保護と適切な労働・社会慣行に取り組むための「ランドスケープアプローチ」に参画
- ・ 衛星モニタリング

【図7：アチエ・タミアン地域の所在地】



2. パルマジュ社サプライチェーン改善

マレーシア

2017年～

- ・ 森林問題への対応
⇒ 地元政府との連携、衛星モニタリング
- ・ 強制労働への対応
⇒ 労働環境改善プログラム、パスポート返却



3. サバ州 小規模農家支援

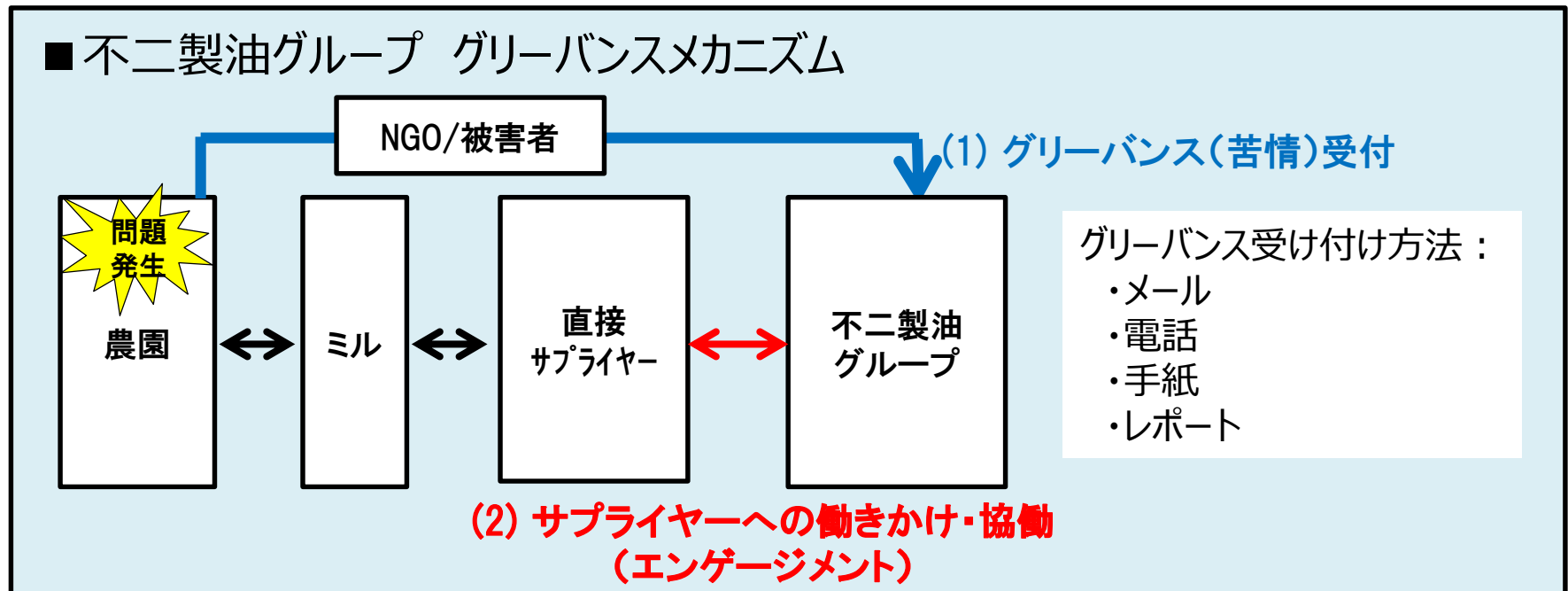
2016年～

- ・ 小規模農家の農業慣行改善、認証取得を支援
- ・ 累計191軒の農家がRSPO認証を新規取得

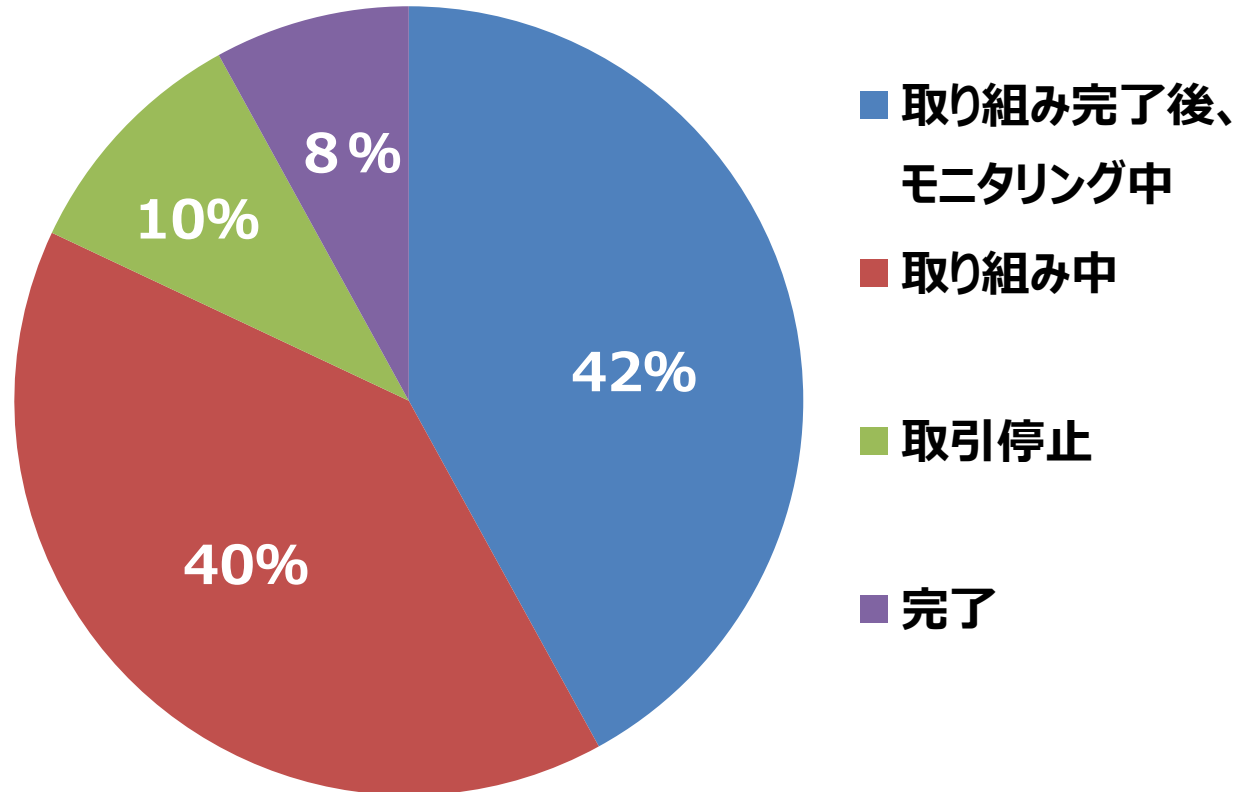


パーム油のサステナブル調達 活動例③苦情処理メカニズム

- ・ 当社のパーム油サプライチェーン上の人権・環境問題を受け付け、**改善するための仕組み**。2018年5月より運用。
- ・ 当社は農園・搾油所を保有していない為、**直接サプライヤーへの働きかけ（エンゲージメント）**が基本的対応
- ・ 対応の進捗状況を当社**WEB上で公表**



取引が確認されたグリーンバンスの進捗状況（2020年6月末現在、108件）

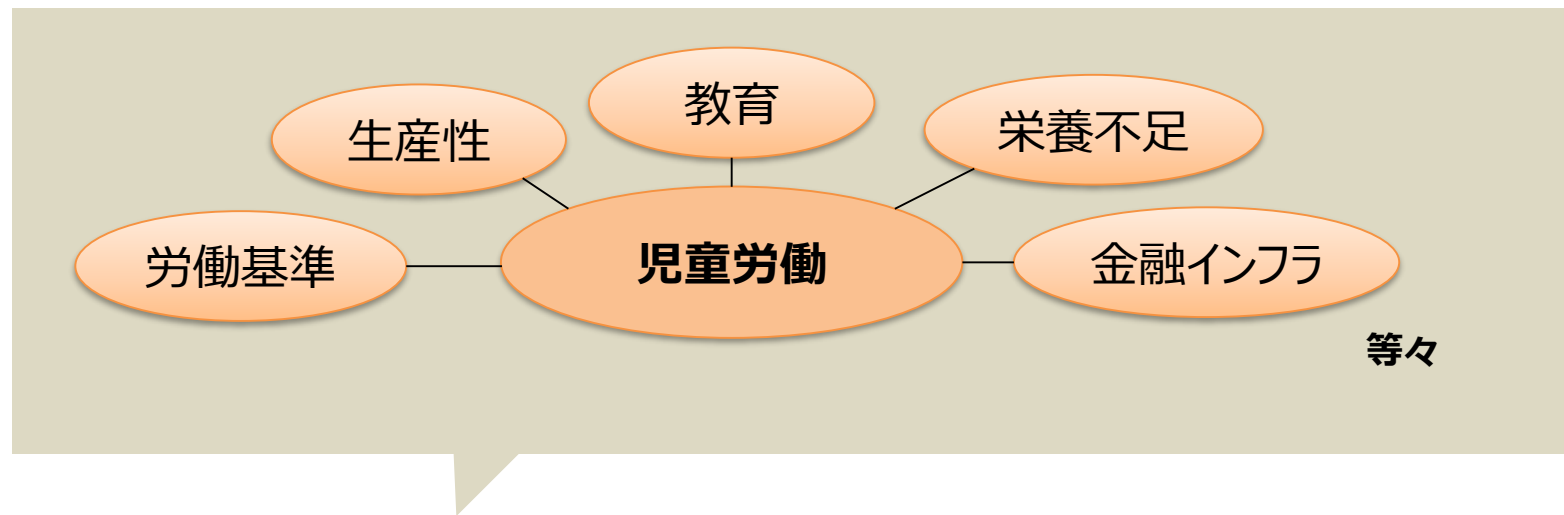


苦情処理メカニズム 実践から学んだこと（一例）

大項目	中項目	ポイント
エンゲージメント	影響力の行使	・Buying Power問題
	サスペンド（取引停止）	・2つの考え方 ① 早期に取引停止 ② 取引停止は最終手段
対象グリーバンス	親会社グリーバンス	・自社サプライチェーン以外への対応

児童労働ゼロコミットメント実現のためにブラマー社の知見を活用

労働基準、金融インフラ、栄養不足 など様々な課題が密接に関連するため、
現地の課題に対する深い知見・多角的アプローチが求められる



コートジボアールでの
ブラマー社の経験・知見

他エリアの
実践に活かす

ガーナ（2020年度～）

エクアドル（2018年度～）

サステナブル・オリジン・プログラム 活動例

People (人々のために)

- ✓ **女性の社会的地位向上のためのプログラム**
(例) 農家の女性への読み書き教育支援
- ✓ **児童労働の撲滅と教育インフラ**
(例) 教育へのアクセス向上支援、
児童労働モニタリングシステムの導入

Planet (地球環境のために)

- ✓ **森林破壊の抑制と植樹**
(例) グループで2030年までに植樹100万本、
農家支援による土壌の栄養改善・水保全

Prosperity (繁栄のために)

- ✓ **農家の所得向上のための各種支援**
(例) 良い農法のためのトレーニング・技術提供
- ✓ **トレーサビリティの確立**
(例) カカオ農家をGPSの地図上でプロットし
農家の世帯調査をデータベースに登録

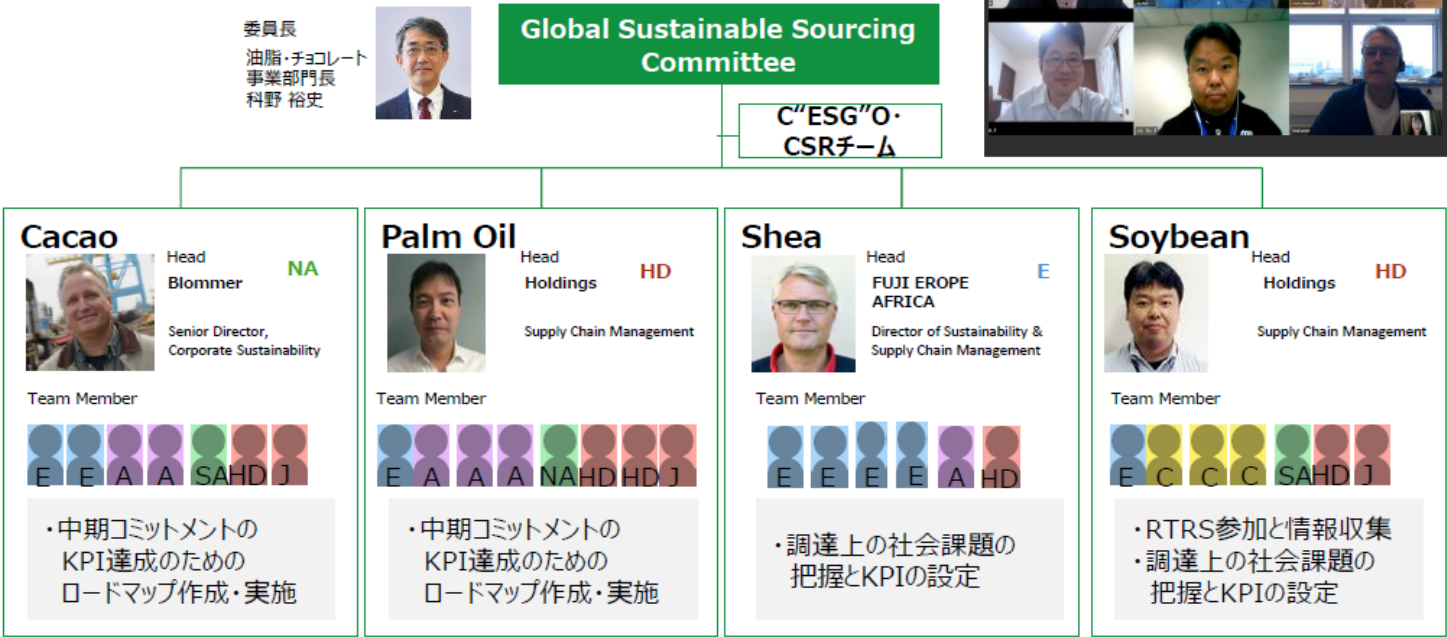
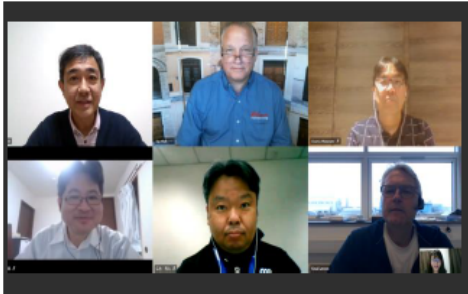
サステナブル調達 さらなる推進のために

グローバルにサステナブル調達の推進をより強固なものにするため、
サステナブル調達委員会を設立し、**サプライヤー行動規範**を策定・公表。

中期コミットメントの実効性向上へ：グローバルサステナブル調達委員会(9月発足)

- 各主原料ごとに分科会を設け、ロードマップに沿った施策を推進
- グローバルサステナブル調達委員会は3ヶ月毎に進捗会議を実施
およびC“ESG”Oへ報告を実施

11月進捗会議風景



主原料ごとのGlobal Sustainability Teamには、各エリアの担当者が直接参画
(※凡例：E=「Europe Africa」、A=「Asia」、C=「China」、SA/NA=「South/North America」、HD/J=「Holdings/Japan」)

1. 経営の考え方
2. 「ビジネスと人権」の取り組み概要
3. サステナブル調達（事例）
4. 「ビジネスと人権」を企業価値へ
～グループシナジーの発揮～

社会からの評価



2020年12月
CDP気候変動・フォレスト・水セキュリティにてトリプルA評価
(約5800社中10社、日本で初)



2020年12月
消費者志向経営優良事例
消費者庁長官表彰（特別枠）受賞



2020年9月
ジャパントイムズSatoyama & ESG アワード2020
ESG部門「大賞」を受賞

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

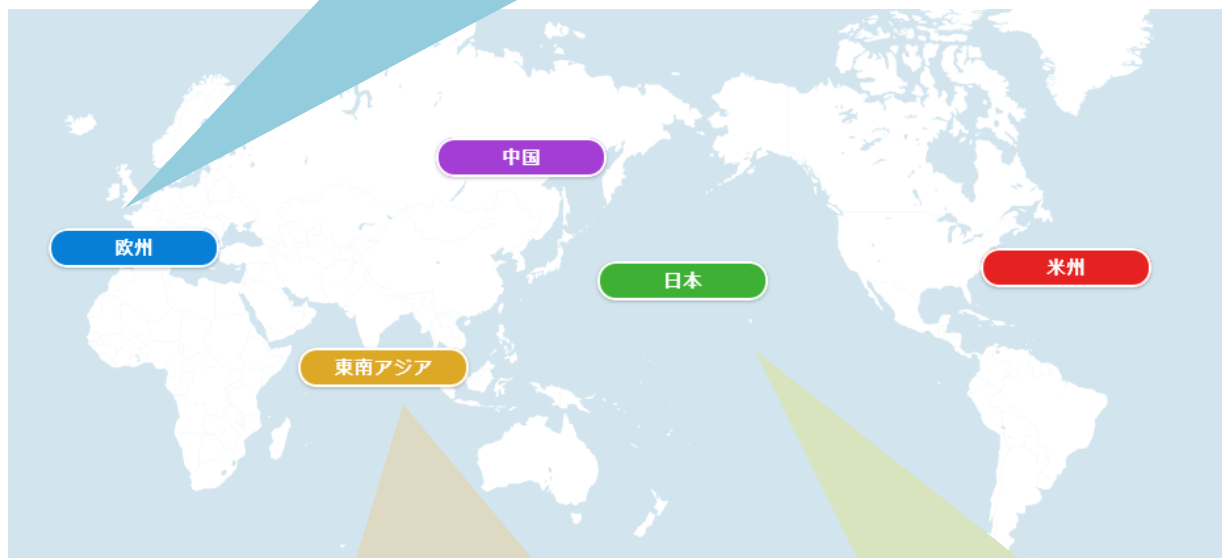


ESGインデックスへの採用（2021年4月時点）

- ・MSCI
 - MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ
 - MSCI日本株女性活躍指数（WIN）
 - MSCI日本株女性活躍指数（セレクト）
- ・S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

顧客からの評価

UNIFUJISキームによる
高品質・サステナブルパーム油の供給が
顧客から好評



サステナブルなパーム油供給が評価され、
グローバル大手の顧客より
「Good Supplier」として表彰

RSPO認証油へのコミットメントを表明
する顧客が増加する中、サステナブル
対応・認証油対応が商売の土台に

グループでのシナジー効果



サステナビリティの
グループシナジー発現
(グループ全体での
信頼獲得、リスク低減)

- ✓ SGグレードの認証油の確保
- ✓ 先進顧客からの信頼の確保

- ✓ 知見を活かしグループグローバル水準のグループ中長期目標の策定
- ✓ ステークホルダーとのコミュニケーションの向上とリスク低減

グループ事業における
ビジネス機会へつなげる

- ✓ 新規顧客への認証油の拡販

- ✓ 認証豆のプログラムの拡大

財務的なリターン
発現

- ✓ 業績への寄与

■ 今後の挑戦 企業価値への影響の見える化



具体的に、どのように影響するのか？

テーマ（例）

✓ 気候変動

⇒TCFDの活用

- ・ 分析の結果：ビジネスチャンス 4度シナリオ < 2度シナリオ
- ・ CO2排出抑制による経済的効果は…？

✓ 生物多様性

- ・ TNFDの検討
- ・ 森林や泥炭地保全による財務的影響は…？

ご清聴、有難うございました。